

APS: 債務管理システム

- 債務計上、支払、買掛金未払金の管理を行うあらゆる業種に対応可能なシステムです。
- Plaza-i PUR 購買管理、GPM 一般購買、EPS 経費精算システム、LAS 拠点会計システム等から支払依頼データを受け入れ、経理による統一的な支払管理を実現出来ます。
- 請求書を入力、承認すると、
 - ①【借方】経費(または仕入等)、仮払消費税／【貸方】未払金(または買掛金)という仕訳が一般会計に自動仕訳され、
 - ②【借方】未払金(または買掛金)／【貸方】現金等という仕訳が一般会計に自動仕訳されるシステムです。
- つまり各部署で承認された支払依頼書を経理でチェック後、入力し、ボタンを押していくと、自然に経理処理、支払処理が完了する、Plaza-i 一般会計を導入する場合は、合わせてご利用いただきたいモジュールです。
- 外貨対応しているので、外貨の支払いが多い場合は、是非ご利用下さい。

主なメニュー

- 債務計上伝票入力
- 直接支払伝票入力
- 債務計上伝票一括生成
- 債務取引外部データ取込
- 債務計上科目別リスト
- 債務計上承認
- 債務残高照会
- 債務補助元帳
- 支払方法変更
- 支払通知書
- 支払予定一覧表
- 支払仕訳一覧表
- 支払承認、支払承認戻し、支払確定処理
- 総合振込依頼書印刷
- FB データ作成
- 債務残高一覧表
- 債務残高明細表、債務勘定内訳明細書
- 源泉税納付予定表

債務計上と直接支払

- 債務計上・直接支払伝票ともに請求書、支払依

頼書を元に、支払先と、計上(勘定科目)明細を入力していただく。支払先マスターの設定に従って、未払金勘定科目、支払予定日、支払方法などが自動的に決定されます。

- 債務計上伝票は計上承認時に、債務計上仕訳を自動仕訳しますが、直接支払伝票は支払確定時に自動仕訳するだけで、債務勘定を通しません。

The screenshot shows the '債務計上伝票入力' (Debt Entry) screen. At the top, there are fields for document number (15000005), payment date (2015/07/18), and other details. Below this is a table with columns for '勘定科目' (Account), '勘定科目名' (Account Name), '外貨金額' (Foreign Amount), '支払金額' (Payment Amount), '税取引' (Tax), '税取引名' (Tax Name), '外税内税' (Foreign/Local Tax), and '税率' (Rate). The table contains entries for '国内仕入高-会計' (46,000), '開発費' (38,000), and '仮払消費税' (6,720). At the bottom, there is a summary section with '外貨計上合計' (93,720) and '計上合計' (46,000).

リアルタイム業者集計

- 債務計上伝票、直接支払伝票を承認すると、Plaza-i は同じ支払先、同じ支払予定日のデータを自動集計します(リアルタイム業者集計)。
- さらに銀行別に登録した「振込手数料マスター」の設定に従って振込手数料を自動計算し、支払先マスターの手数料:業者負担/自社負担の設定に従って、支払額を計算します。
- Plaza-i は業者集計後の金額により半金半手等の支払分割や、期日現金払い条件に従った支払予定日の自動設定が可能です(詳細後述)。

支払方法変更・支払予定日変更(相殺対応)

- 債務計上承認後は、仕訳承認と同じく、計上金額、計上勘定科目等の計上データの変更はロックされます(内部統制の確保)。
- しかし、支払方法、支払予定日は支払承認するまで変更可能です。
- Plaza-i では支払方法変更という画面から、①支払予定に対応する計上明細の確認、②業者集計後の金額に対する売掛金等との「相殺処理」、③支払方法の変更(振替元銀行の変更や半金半手の割合の変更)、④支払予定日の変更、⑤支払保留等の処理を行うことが出来ます。

銀行の FB システムと連動します

- 総合振込依頼書を利用される場合は、Plaza-i から出力される総合振込依頼書をそのまま銀行にご提出下さい。
- 銀行と Web-Banking 等、インターネットもしくは電話回線によるファームバンキング (FB) 契約をされている場合は、そのシステムに外部ファイルアップロード、外部データ取込等のメニューがありますので、Plaza-i 債務管理システムで生成した「全銀協フォーマット」FB データを読み込ませてください。
- これにより、FB システムに支払先、振込先、支払金額を打ち込む必要がなくなります。

支払控除、源泉税管理

- 債務計上時点で、控除タブから源泉税等の控除金額を入力することが出来ます。
- 源泉については、さらに、源泉対象金額、源泉税額、源泉税納付種別・区分、納付予定日を登録できますので、これらの情報を元に、源泉支払データを自動生成し、かつ、源泉納付予定表を出力することが出来ます。

支払調書対応

- 年末には、上記控除タブの情報に基づき、「報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書」と、この適切性をチェックするための「支払先別源泉徴収月次推移表」を作成することが出来ます。

支払通知書対応

- 支払先マスターの支払通知書送付区分、送付先の設定に従って、支払先に支払金額の通知書を宛先住所つきで印刷することが出来ます。
- 支払通知書に支払予定日毎のコメントを印刷することもできます。
- 計上内訳を表示するフォーマットと表示しないフォーマットを選択できます。

買掛金確認状対応

- 指定した支払先に対し、確認状とコントロールシートを印刷することが可能です。
- 複数の支払先を集計し、また、確認状送付先を指定することが出来ます。

期日払・手形払対応

- 業者集計後の支払予定額が特定金額以上であると、支払予定日が例えば、翌月末でなく 3 ヶ月末となるような支払条件に対応しています。
- 一部手形払いの場合でも、1000 円未満切り捨てのような処理ができます。
- つまり、「100 万未満翌月末振込、以上翌々月末 30% 手形1万未満切捨、残額振込」、例えば、A 社に対する複数の債務計上傳票を集計すると

1,035,000 円となったとすると、100 万円以上なので、その 30%、310,500 円を手形、しかし 1 万円未満切り捨てなので、31 万を手形、残額、つまり 725,000 円を通常の翌月末ではなく、翌々月末に支払うという支払予定データを自動生成することができます。集計後に都度ボタンを押したり、手で分解指定する必要はありません。

前払対応

- 先に支払を実行し、後から計上された債務と相殺すること、即ち前払処理に対応しています。
- 前払伝票は支払時に前払金が計上され、同じ支払先に対する債務の計上時点で相殺されます。

外貨対応

- あらゆる通貨での債務計上、支払が可能です。
- FEC 為替予約システムと連動し、引当した複数の為替予約取引から直接支払を実行することができます。未引当の部分だけ、支払方法変更画面で支払口座を指定して支払を実行することができます。
- 月末の外貨建て債務残高を換算し、換算差額を自動仕訳します。

支払手形オプション

- 支払手形オプションを採用すれば、債務管理システムのメニューに支払手形のメニューが登場し、債務支払と連動した支払手形の発行、期日管理、台帳管理が可能となります。
- 印紙税の合計が最小になるよう、手形を自動で分割させることができます。

建設プロジェクト債務に対応

- プロジェクト管理システムと連動し、現場から提出された査定書を元に、現場プロジェクト別に債務計上承認を実行することが出来ます。
- 協力会費、請求書等の、支払控除処理に対応しています。
- 引去、保留金の表示に対応した支払通知書を出力することが出来ます。